MAKIMOJI 使い方マニュアル

文字を書いて、自分だけのフォントを作る

> **このマニュアルについて**　初めて MAKIMOJI を使う方を対象に、画面の見方から、文字の作成、保存、プレビュー、TTF 書き出しまでを順番に説明します。画像内の丸数字が、クリックする場所です。

目次

1. MAKIMOJI でできること

2. 使い始める前の準備

2-1. 必要な環境

2-2. ファイル形式について

2-3. 基本の流れ

3. ホーム画面から始める

3-1. 新しいプロジェクトを作る

3-2. 作成手順

3-3. 既存プロジェクトを開く

3-4. お知らせとオフライン動作

4. 文字を書く画面を理解する

4-1. 文字を選ぶ

4-2. マウスで書く

4-3. ペン・筆圧で書く

4-4. ペンの太さを調整する

4-5. 消しゴムを使う

4-6. 位置調整とサイズ変更

4-7. 元に戻す・やり直す・全消去

5. 文字一覧で作成状況を確認する

5-1. 検索・絞り込み

5-2. カードから文字を開く

6. フォント設定を整える

6-1. 手本フォントを文字種別に選ぶ

6-2. 手本の色と濃度

6-3. 手書き感

7. 保存・自動バックアップ・復旧

7-1. 保存状態の見方

7-2. 安全な終了手順

7-3. 自分でバックアップを保管する

8. プレビューで使い心地を確認する

8-1. サンプル文章を使う

8-2. プレビューで見るポイント

9. TTF フォントを書き出す

9-1. 入力項目

9-2. 書き出し手順

9-3. Windows へインストールする

9-4. 文字の表示を確認する

10. アプリ設定と言語切り替え

10-1. 日本語と英語を切り替える

11. キーボードショートカット

12. 画面に表示されるメッセージの意味

13. 困ったときの確認手順

13-1. ペンタブを確認する

13-2. 描いた線を確実に残す

13-3. プロジェクトを作成・オープンする

13-4. TTF を他のアプリで使う

13-5. お知らせを確認する

14. よくある質問と利用上の注意

14-1. 必要な漢字から作れますか？

14-2. 作成したフォントを商用利用できますか？

14-3. オフラインで使えますか？

14-4. プロジェクトを人に渡せますか？

14-5. 画像や PDF から文字を取り込めますか？

15. 付録：用語とリンク

15-1. 最新情報

15-2. 更新メモ（編集用）

1. MAKIMOJI でできること

MAKIMOJI は、マウスや Windows Ink 対応ペンで文字を書き、自分の手書き文字を TrueType フォント（TTF）として書き出す Windows 向けアプリです。

- Windows 10 / Windows 11 で使用できます。
- マウス、ペンタブレット、Windows Ink 対応ペンで文字を書けます。
- ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを作成できます。
- 日本語 UI と英語 UI を同じアプリ内で切り替えられます。
- 作成した文字だけを使ってフォントを書き出せます。作品に必要な文字から少しずつ追加できます。
- オフラインでも、基本的な作成・保存・プレビューを続けられます。

> **このマニュアルのゴール** まず英字の A・B・C など数文字を書いて保存し、プレビューで確認してから、TTF として書き出してメモ帳で使ってみましょう。必要な文字を少しずつ追加していきましょう。

2. 使い始める前の準備

アプリを起動する前に、入力機器と保存先を決めておくと、最初のプロジェクト作成がスムーズです。

2-1. 必要な環境

OS	Windows 10 または Windows 11
入力	マウス。ペンタブレットや Windows Ink 対応ペンも利用できます。

2-2.ファイル形式について

.mkmj	編集中のプロジェクト。文字の手書きデータ、設定、進捗を保存します。
.ttf	フォントとして書き出した完成物。Windows へインストールして他のアプリで使います。

> **保存先のおすすめ** プロジェクトごとに専用フォルダーを作り、名前に日付や用途を入れると管理しやすくなります。例：Documents¥MAKIMOJI¥MyHandFont.mkmj。マニュアルでは一般的なフォルダー名を例として使います。

2-3. 基本の流れ

1. ホーム画面で「新しいフォントを作る」をクリックします。
2. プロジェクト名と保存先を決め、「作成して文字を書く」をクリックします。
3. 文字を書く画面で、現在の文字を描きます。1 文字ずつ保存されます。
4. 「プレビュー」で文字列・手紙・メモ帳の表示例を確認します。
5. 「フォントを書き出す」で名前や作者名を入力し、TTF を保存します。
6. Windows に TTF をインストールし、メモ帳などの文字入力アプリで選択します。

3. ホーム画面から始める

ホーム画面には、新しいフォントを作るための入口、既存プロジェクト、最近使ったプロジェクト、お知らせ、設定があります。

- 初めて使うときは、ターコイズ色の「新しいフォントを作る」から始めます。
- 既に作った .mkmj を続けるときは、「プロジェクトを開く」または最近使ったプロジェクトを使います。
- 最近使ったプロジェクトの行を選ぶと、最後に編集していた文字から再開できます。
- 画面右上の歯車はアプリ全体の設定、文字を書く画面左側の「フォント設定」は現在のフォント用です。



図 1　ホーム画面（丸数字はクリック位置）

番号	場所	できること
1	新しいフォントを作る	新規プロジェクト作成画面を開きます。最初に使う主ボタンです。
2	プロジェクトを開く	既存の .mkmj プロジェクトを選択して開きます。
3	言語・設定	言語の切り替えやアプリ設定を開きます。
4	最近使ったプロジェクト	最近開いたプロジェクトを選択して開きます。
5	お知らせ画像	クリックすると関連ページをブラウザーで開きます。オフライン時は内蔵画像を表示します。

3-1. 新しいプロジェクトを作る

最初は、作成するフォントの名前と保存場所を決めます。あとから名前を変更するより、用途が分かる名前を付けておくと管理しやすくなります。



図 2　新しいフォントを作る画面

番号	場所	できること
1	プロジェクト名	プロジェクトの名前を入力します。フォント表示名とは別に、作業用の名前として使います。
2	保存先	プロジェクトを保存するフォルダーを入力または確認します。
3	フォルダーを選ぶ	フォルダー選択画面を開きます。入力が苦手な場合はこちらを使います。
4	キャンセル	文字の書き出しを見送り、ホームへ戻ります。
5	作成して文字を書く	プロジェクトを作成し、文字を書く画面へ進みます。

3-2. 作成手順

1. ホーム画面で「新しいフォントを作る」をクリックします。
2. 「プロジェクト名」に、例として「My Hand Font」と入力します。
3. 「保存先」を確認します。必要なら「フォルダーを選ぶ」で書き込み可能な場所を指定します。
4. 入力内容を確認し、「作成して文字を書く」をクリックします。
5. 文字を書く画面が開いたら、表示上の現在の文字から作成を始めます。

> **同名のプロジェクトがある場合**　既に同じ場所に同名の .mkmj があるときは、別のプロジェクト名または保存先を選びます。既存データを守るための安全動作です。

3-3. 既存プロジェクトを開く

1. ホーム画面で「プロジェクトを開く」をクリックします。
2. ファイル選択画面で、開きたい .mkmj プロジェクトを選びます。
3. 最近使ったプロジェクトに表示されている場合は、その行を選択して開くこともできます。
4. プロジェクトを開いたときは、最後に編集していた文字から再開します。

4. 文字を書く画面を理解する

中央のキャンバスに文字を書き、左右のパネルで文字の移動・編集・保存・書き出しを行います。

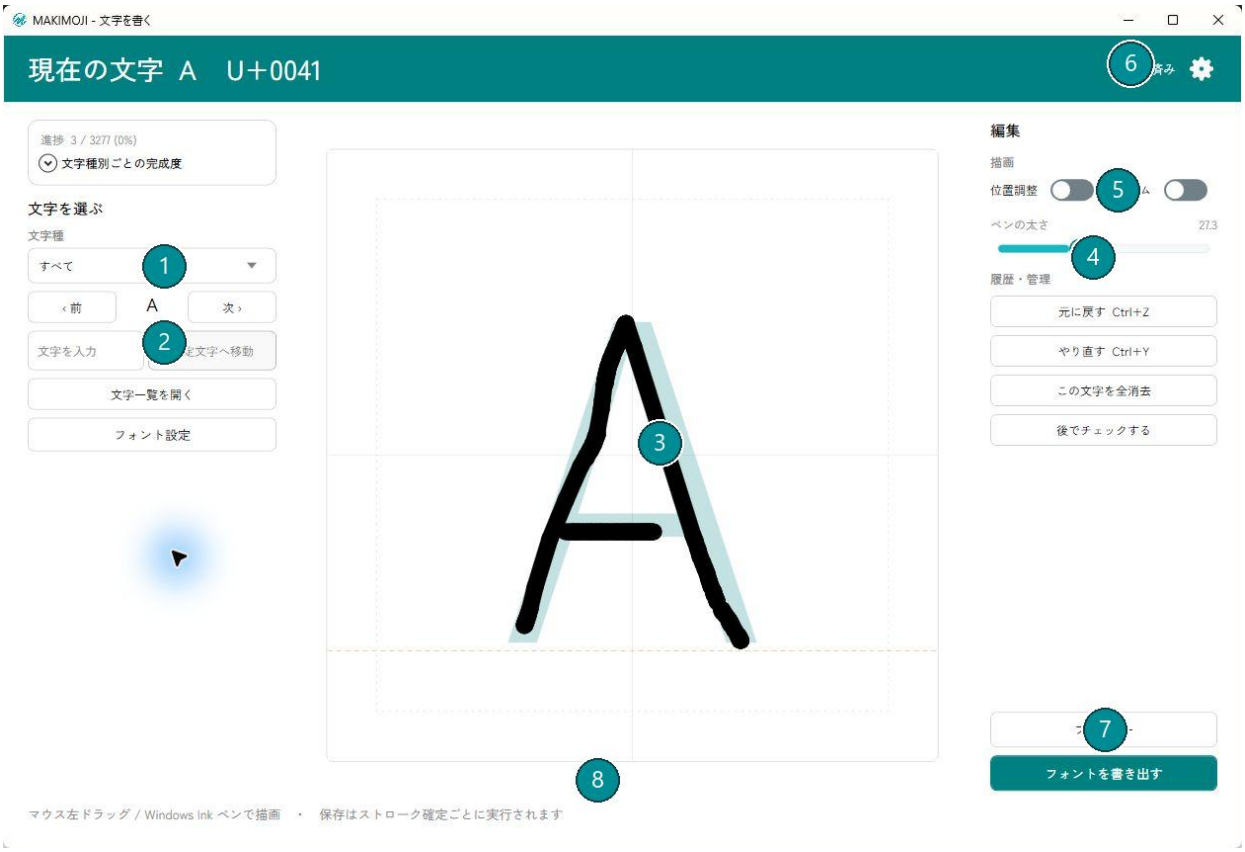


図 3　文字を書く画面

番号	場所	できること
1	文字種フィルター	ひらがな、英字など、前後移動の対象を絞ります。
2	前へ・現在文字・次へ	1 文字ずつ移動します。← →キーでも移動できます。
3	キャンバス	この範囲内でマウスまたは Windows Ink ペンをドラッグして書きます。
4	ペンの太さ	スライダーを動かして、これから書く線の太さを調整します。
5	編集トグル	位置調整と消しゴムを切り替えます。
6	保存状態	「✓ 保存済み」になっていることを確認します。
7	プレビュー・フォントを書き出す	完成状態を確認してから最終的に使う操作です。
8	文字一覧・フォント設定	一覧から任意の文字へ移動したり、手本フォントを設定したりします。

4-1. 文字を選ぶ

左側の「文字を選ぶ」には、文字種フィルター、前後移動、指定文字への移動、文字一覧があります。現在の文字は上部のターコイズ色の帯にも表示されます。

- 「前へ」「次へ」：前後の文字へ移動します。
- ← / →：キーボードで前後の文字へ移動します。
- 「文字を入力」＋「指定文字へ移動」：A、あ、漢などを入力して目的の文字へ移動します。
- 「文字一覧を開く」：カード一覧から作成状況を確認し、任意の文字を選びます。
- プロジェクトを開き直すと、最後に編集していた文字から始まります。

4-2. マウスで書く

1. 消しゴムが OFF になっていることを確認します。
2. 必要なら「ペンの太さ」スライダーを調整します。
3. キャンバス内でマウスの左ボタンを押し、文字の線に沿ってドラッグします。

4. 線を描き終えたら左ボタンを離します。1 本の線が確定すると保存されます。

5. 保存状態が「✓ 保存済み」になったことを確認して、次の線または次の文字へ進みます。

4-3. ペン・筆圧で書く

Windows Ink 対応ペンをキャンバス上で動かすと、ペン入力として受け取られます。筆圧を使う設定が有効な場合、入力機器が対応していれば線の太さに筆圧が反映されます。

- ペンタブレットのドライバーと Windows Ink 設定を確認してからアプリを起動します。
- ペン先をキャンバスに触れて動かします。マウスで書けるときは、Windows Ink 側の設定を確認します。
- ペンを離して線が確定したら、保存状態を確認します。
- ペンの側面ボタンや消しゴム側は、機種によって入力方式が異なります。まずペン先で確認してください。

> **手本は下書き用のガイド** 薄い文字で表示される手本は、字形や位置を合わせるためのガイドです。自分で書いた線とは別に表示されます。色と濃度は「フォント設定」で変更できます。

4-4. ペンの太さを調整する

1. 右側の「ペンの太さ」スライダーを見つけます。

2. つまみを左へ動かすと細く、右へ動かすと太くなります。

3. 線を描き終わるまでに何度でも変更できます。線の太さはペンの太さ設定で調整します。

4. スライダーを動かしたあと、保存状態が落ち着くまで少し待ってから閉じます。

4-5. 消しゴムを使う

1. 「消しゴム」トグルを ON にします。キーボードの E キーでも切り替えられます。

2. 消したい線の上をドラッグします。確定した消去操作は保存されます。

3. 消し終わったら、必ず「消しゴム」を OFF に戻してから描画します。

4. 必要な場合は「元に戻す」で直前の消去を取り消せます。

> **描画と消去を切り替える** 文字を書くときは、右側の「消しゴム」を OFF にして描画モードを選びます。消すときは ON に切り替えます。

4-6. 位置調整とサイズ変更

文字を書いたあとで位置や大きさを整える場合は、「位置調整」トグルを ON にします。文字の範囲をドラッグすると移動でき、右端付近のサイズ変更ハンドルに近づけると横方向のサイズ変更カーソルになります。

- 位置調整中は、描いた線を移動・拡大縮小する操作として使います。
- 移動やサイズ変更が終わったら、トグルを OFF に戻して描画へ戻ります。
- 位置調整中に Esc を押すと、操作をキャンセルできます。
- 大きさを変えても、元の手書き線を保ったまま表示位置・倍率を調整します。

4-7. 元に戻す・やり直す・全消去

元に戻す	直前の描画・消去・位置調整などを取り消します。Ctrl+Z でも実行できます。
やり直す	「元に戻す」で取り消した操作をもう一度適用します。Ctrl+Y でも実行できます。
この文字を全消去	現在の文字の手書き線をまとめて消します。実行前に対象文字を確認してください。
後でチェックする	あとで見直したい文字に目印を付けます。

> **保存を確認するタイミング** 線を確定したあと、文字を切り替える前、設定画面を閉じる前、アプリを終了する前に、上部が「✓ 保存済み」になっていることを確認してください。

5. 文字一覧で作成状況を確認する

文字一覧は、作成済み・未作成・あとでチェックする文字をまとめて見られる画面です。

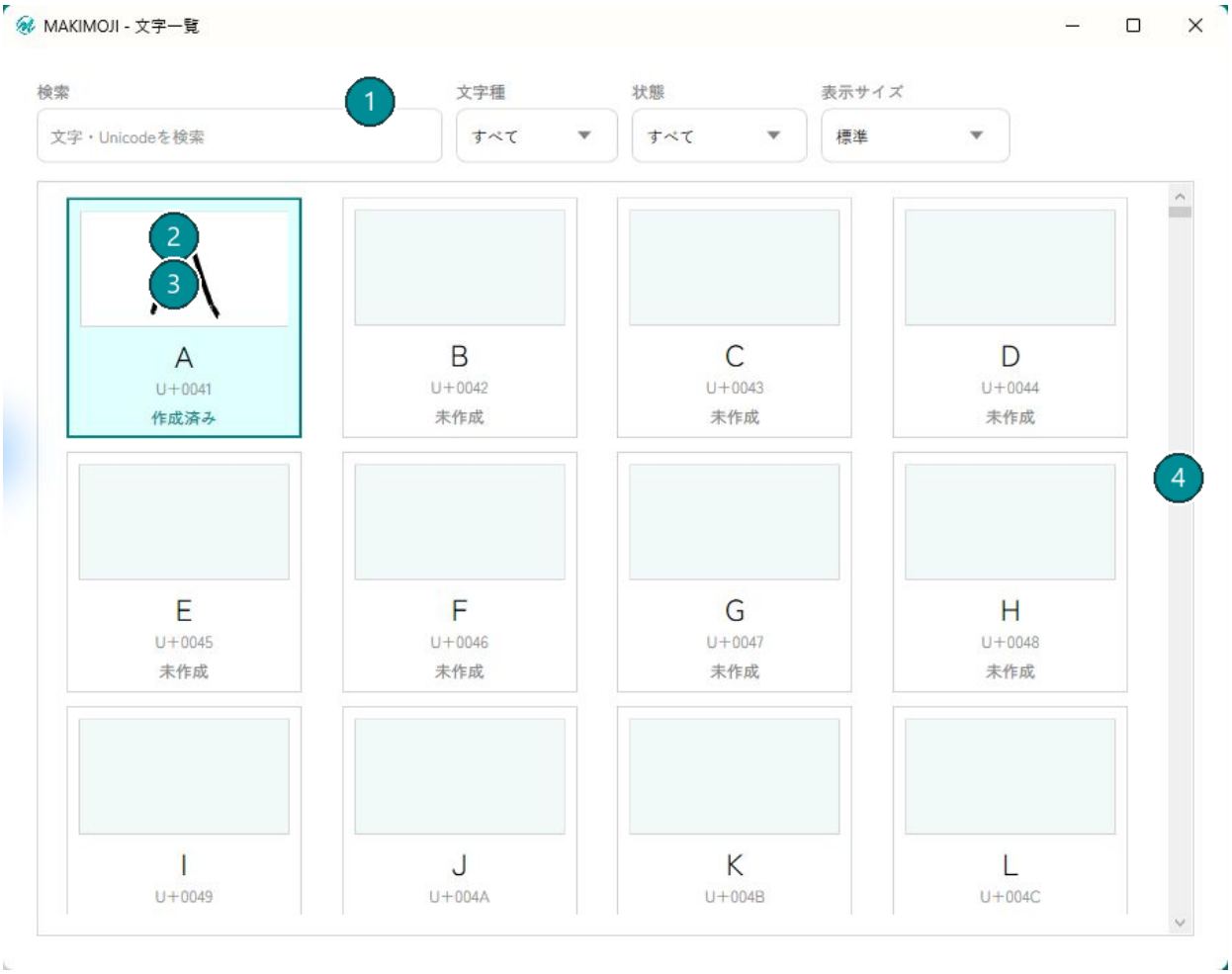


図 4　文字一覧画面

番号	場所	できること
1	検索とフィルター	文字・Unicode、文字種、状態、表示サイズで絞り込みます。
2	選択中のカード	現在の文字はターコイズ色の枠で表示されます。
3	文字カード	文字、Unicode、作成済み/未作成の状態を確認できます。
4	スクロールバー	一覧を上下に移動します。

5-1. 検索・絞り込み

検索	文字や Unicode を入力します。例：A、あ、U+3042。
文字種	ひらがな、英字、漢字など、対象の文字種を絞ります。
状態	作成済み、未作成、後でチェックなどの状態で絞ります。
表示サイズ	コンパクト、小、標準、大からカードの見やすさを選びます。

5-2. カードから文字を開く

1. 一覧のカードを確認します。作成済みのカードには手書き文字のサムネイルが表示されます。
2. カード下部の文字と Unicode を確認します。文字を正しく見分けるための情報です。
3. 編集したいカードをクリックします。
4. 文字を書く画面に戻ると、選んだ文字が現在の文字になります。

> **未作成の文字について**　未作成カードは、これから作る文字を確認するための表示です。まず作品で使う文字から作り、必要な文字を後から追加できます。作成した文字だけでフォントを書き出せます。

6. フォント設定を整える

フォント設定は、現在のプロジェクトで使う手本フォント、手本の色・濃度、筆圧、手書き感を決める画面です。



図 5　フォント設定画面

番号	場所	できること
1	保存状態	設定の変更が保存されているか確認します。
2	日本語の手本フォント	ひらがな・カタカナ・漢字に使う手本を選びます。
3	その他の手本フォント	英字・数字・記号に使う手本を選びます。
4	お手本の色・濃度	キャンバス上の手本を見やすい色と濃さにします。
5	ペン入力の筆圧	対応ペンの筆圧を線の太さへ反映します。
6	手書き感	ラフ寄りか、きれい寄りかの補正度を調整します。
7	閉じる	設定画面を閉じて文字を書く画面へ戻ります。

6-1. 手本フォントを文字種別に選ぶ

1. 文字を書く画面で「フォント設定」をクリックします。
2. 「日本語（ひらがな・カタカナ・漢字）」で、日本語用の手本を選びます。
3. 「その他（英字・数字・記号）」で、英字・数字・記号用の手本を選びます。
4. 「閉じる」をクリックします。設定は変更後に自動保存されます。

6-2. 手本の色と濃度

手本が濃すぎると自分の線が見えにくくなります。まず薄めに設定し、必要な部分だけ濃くすると、ガイドと自分の文字を見分けやすくなります。

6-3. 手書き感

「ラフ」側では入力した線の雰囲気を残し、「きれい」側では線の揺れを整えます。好みに合わせて調整し、プレビューで結果を確認してください。

> **設定変更後の保存**　設定は変更から少し待つと自動保存されます。スライダーを動かしたあとは、「✓ 保存済み」になってからウィンドウを閉じます。

7. 保存・自動バックアップ・復旧

MAKIMOJI は、書いた線をプロジェクトへ保存しながら作業します。保存状態を確認することが、データを守る一番簡単な方法です。

7-1. 保存状態の見方

✓ **保存済み**	現在の変更がプロジェクトへ保存されています。
保存中	保存処理が進行中です。少し待ってください。
保存できませんでした	保存先の権限、空き容量、ファイルの使用状況などを確認し、画面を開いたまま再試行します。
バックアップ	作業中のプロジェクトを保護するためのコピーです。元のプロジェクトとは別のデータです。

7-2. 安全な終了手順

1. 最後の線や設定変更を終えます。
2. 上部の保存状態が「✓ 保存済み」になるまで待ちます。
3. 必要なら Ctrl+S でバックアップを作成します。
4. ウィンドウ右上の×で閉じます。保存処理が完了してから、ウィンドウを閉じる操作を行います。

7-3. 自分でバックアップを保管する

大切なプロジェクトは、アプリの自動バックアップに加え、作業が終わったタイミングで .mkmj プロジェクトを別の場所へコピーしてください。外付けドライブやクラウド同期フォルダーを使う場合も、コピーが完了してから元データを整理します。

- 作業中のプロジェクトは、保存完了後にコピーしてから移動・改名・整理します。
- コピー中はアプリを閉じ、保存が完了していることを確認する。

- バックアップには日付を付ける。例：MyHandFont_2026-08-16.mkmj。
- 復旧するときは、元のプロジェクトを保管したまま、別名で復元する。

> 最重要「保存済み」になったことを確認してから、アプリを終了したり保存先を移動したりします。書いた文字を守るための基本ルールです。

8. プレビューで使い心地を確認する

プレビューでは、作成した文字が文章の中でどのように見えるかを確認できます。文字単体と実際の利用場面に近い表示を見比べられます。



図 6　文字列で見る

番号	場所	できること
1	プレビュー文字列	複数行の文章を入力・確認します。改行も反映されます。
2	サイズ	プレビュー文字の大きさを調整します。
3	入力例	用意されたサンプル文章を選びます。
4	表示例の切り替え	文字列・手紙・メモ帳を切り替えます。
5	文字列プレビュー	作成済み文字と未作成文字の見え方を確認します。



図 7　手紙で見る

番号	場所	できること
1	プレビュー文字列	手紙の本文に使う文章を確認します。
2	サイズ	手紙の文字サイズを調整します。
3	入力例	サンプル文章を選びます。
4	手紙で見る	手紙レイアウトへ切り替えます。
5	手紙プレビュー	用紙上での文字のまとまりを確認します。



図 8　メモ帳で見る

番号	場所	できること
1	プレビュー文字列	メモ帳に入力する文章を確認します。
2	サイズ	メモ帳表示の文字サイズを調整します。
3	入力例	サンプル文章を選びます。
4	メモ帳で見る	Windows メモ帳に近い表示例へ切り替えます。
5	メモ帳プレビュー	実際の文字入力アプリでの見え方を確認します。

8-1. サンプル文章を使う

「入力例」から文章を選ぶと、ひらがな・英字・数字などを含む文章が自動入力されます。入力欄を直接編集して、作品名や SNS 投稿文など、実際に使いたい文章へ置き換えることもできます。

8-2. プレビューで見るポイント

- 文字同士の間隔が自然に見えること。
- 文字の上下位置や大きさが揃っているか。
- 未作成文字が別フォントや薄い表示で補われていること。
- 文章を改行したときに、行のまとまりが自然か。
- 文字の太さを変えた場合に、本文全体の読みやすさが保たれているか。

9. TTF フォントを書き出す

文字を書き終えたら、フォントの名前や作者名を入力して TTF ファイルを作成します。未作成の文字は必要なものから追加し、作成済みの文字でフォントを書き出せます。

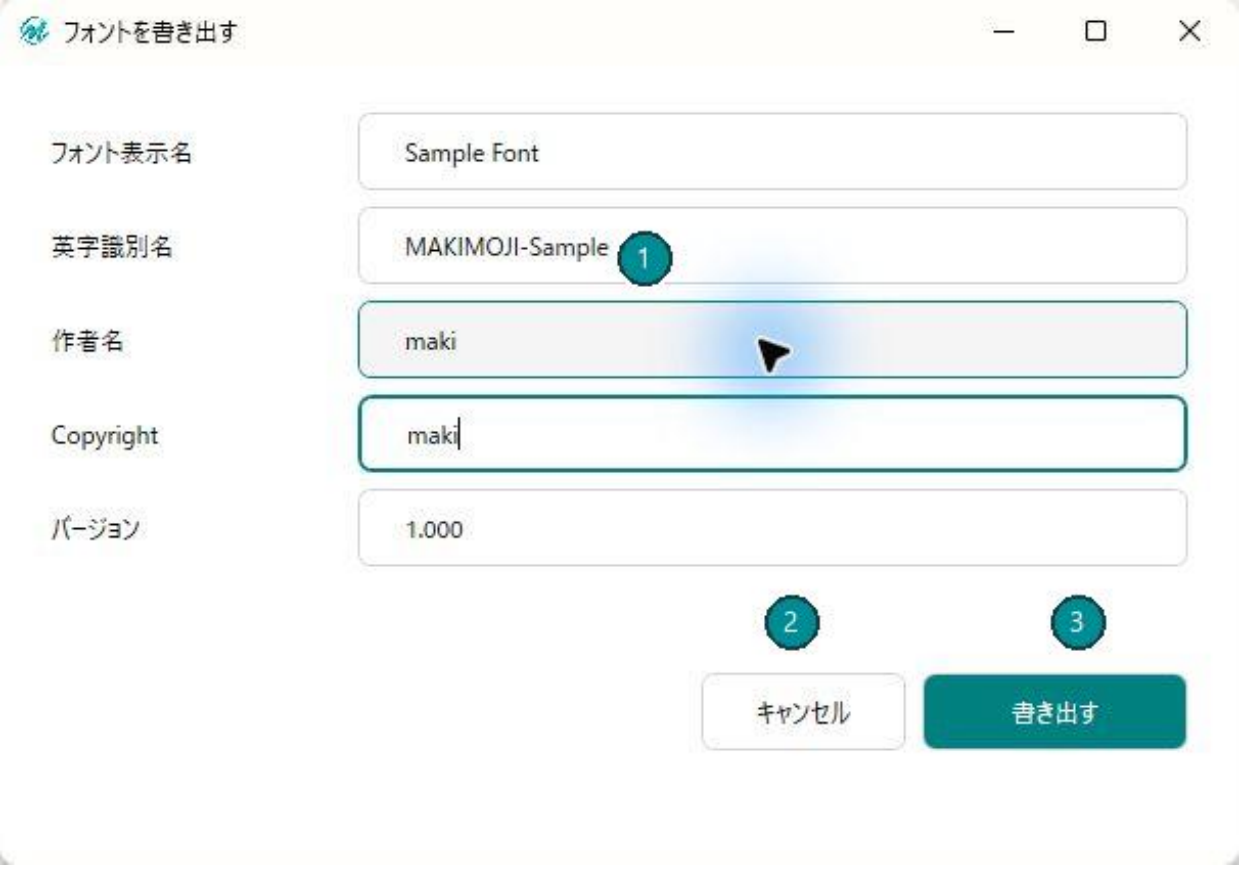


図 9　フォントを書き出す画面

番号	場所	できること
1	フォント情報	フォント表示名、英字識別名、作者名、Copyright、Version を入力します。
2	キャンセル	書き出しを行わず、文字を書く画面へ戻ります。
3	書き出す	保存先を選び、TTF を作成します。

9-1. 入力項目

フォント表示名	メモ帳などのフォント一覧に表示される名前です。日本語でも入力できます。
英字識別名	フォント内部の識別名です。英数字とハイフンで入力します。
作者名	フォントの作者として表示する名前です。例：maki
Copyright	必要に応じて著作権表示を入力します。
Version	major.minor 形式で入力します。例：1.000

9-2. 書き出し手順

1. 文字を書く画面で、必要な文字が「作成済み」になっていることを確認します。
2. 「フォントを書き出す」をクリックします。
3. フォント表示名、英字識別名、作者名、Copyright、Version を入力します。
4. 「書き出す」をクリックします。
5. 保存先とファイル名を選び、TTF の保存完了を待ちます。
6. 保存した TTF を、まずバックアップしてからインストールします。

> **無料体験版について** 販促計画上、無料体験版は編集・保存・プレビューまで利用でき、TTF の書き出しは製品版の機能です。体験版で作成したプロジェクトは製品版へ引き継げます。

9-3. Windows へインストールする

1. 保存した .ttf ファイルをエクスプローラーで表示します。
2. TTF を右クリックし、「インストール」または「すべてのユーザーに対してインストール」を選びます。
3. インストールが終わったら、使用するアプリを一度終了して再起動します。

4. フォント一覧では、書き出し画面で入力した「フォント表示名」を探します。

5. メモ帳で文字を入力し、フォント選択から作成したフォントを選びます。

9-4. 文字の表示を確認する

- アプリを再起動してフォント一覧を更新します。
- フォント表示名と英字識別名を確認します。
- 対象の文字が作成済みか、文字一覧で確認します。
- TTF を右クリックして、インストールが完了しているか確認します。
- Windows のフォント一覧を確認し、表示が更新されるまで PC を再起動してから再確認します。

10. アプリ設定と言語切り替え

アプリ全体の設定は右上の歯車、現在のフォント固有の設定は文字を書く画面左側の「フォント設定」から開きます。



図 10　アプリ設定画面

番号	場所	できること
1	言語	日本語と English を切り替えます。
2	作者名・バージョン	現在のアプリ情報を確認します。
3	ホームページを開く	MAKIMOJI のホームページをブラウザーで開きます。
4	ショートカット	キーボード操作一覧を開きます。
5	閉じる	設定画面を閉じます。

10-1. 日本語と英語を切り替える

1. ホーム画面または文字を書く画面の右上にある歯車をクリックします。
2. 「言語」のプルダウンを開き、日本語または English を選びます。
3. 画面を閉じて、表示が切り替わっていることを確認します。
4. 一部の別ウィンドウが開いている場合は、そのウィンドウを閉じてから開き直します。

> **言語設定は画面表示だけを切り替え、データはそのまま保持します** 言語設定は画面に表示する文言だけを切り替えます。作成した線、プロジェクト、TTF の内容はそのまま保持されます。

11. キーボードショートカット

ショートカットは、文字を書く画面をキーボードから素早く操作するための機能です。アプリ設定の「ショートカット」からも確認できます。



図 11　ショートカット一覧

番号	場所	できること
1	ショートカット一覧	キーと操作内容を確認します。
2	閉じる	一覧を閉じて元の画面へ戻ります。

Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + Y	やり直す
← / →	前の文字 / 次の文字へ移動
Alt + ← / Alt + →	前の文字 / 次の文字へ移動（互換操作）
Space	一時的に手本を隠す
T	位置調整を切り替える
E	消しゴムを切り替える
Esc	操作をキャンセルする
Ctrl + S	バックアップを作成する

文字入力欄にカーソルがある場合 文字入力欄へ文字を入力している間は、← →や T・E などが入力操作として扱われる場合があります。キャンバスをクリックしてからショートカットを使ってください。

12. 画面に表示されるメッセージの意味

メッセージが表示されたときは、まず保存状態と対象の文字を確認します。

✓ **保存済み**	変更内容が保存されています。通常どおり次の操作へ進めます。
保存中	処理が完了するまで待ち、完了後にウィンドウを閉じます。
保存できませんでした	保存先の権限・空き容量・ファイル使用状況を確認し、画面を開いたままもう一度試します。
後でチェックする	あとで見直す文字に目印を付けます。作成済み/未作成とは別の管理状態です。
お手本フォントを確認する	お手本フォントは PC で利用できるフォントを選び、フォント設定から別のフォントへ変更できます。利用状況に応じて代替フォントも表示します。
自動バックアップに失敗しました	作業中の画面を開いたまま、保存先と空き容量を確認します。必要なら Ctrl+S を再実行します。

13. 困ったときの確認手順

症状が出たら、まず保存状態とプロジェクトの場所を確認してから、必要な対処を行います。

13-1. ペンタブを確認する

1. まずマウスでキャンバスに書けるか確認します。
2. ペンタブレットのドライバーが Windows 10/11 に対応しているか確認します。
3. ペンタブレットの設定で Windows Ink を有効にし、MAKIMOJI を再起動します。
4. ペン先でキャンバスを押して動かします。側面ボタンや消しゴム側は後で確認します。
5. 別の Windows Ink 対応アプリでペンが反応するか確認します。
6. マウスで書けてペン入力を使うときは、入力機器設定を先に確認します。

13-2. 描いた線を確実に残す

- 描画時は「消しゴム」を OFF にします。E キーでも切り替えられます。
- 描画時は「位置調整」を OFF にします。
- ペン先を使って確認します。
- 保存状態が「✓ 保存済み」になるまで待ちます。

13-3. プロジェクトを作成・オープンする

- 保存先が書き込み可能なフォルダーか確認します。
- 同じ場所に同名の .mkmj がある場合は、別名を付けます。
- プロジェクトを別のアプリで開いている場合は、閉じてから操作します。
- まずローカルの Documents 配下で試します。
- 元の .mkmj を保管したまま、必要なら別の場所へコピーしてから開きます。

13-4. TTF を他のアプリで使う

- TTF のインストールが完了しているか確認します。
- 使用するアプリを終了して、もう一度起動します。
- フォント一覧では、書き出し時に指定したフォント表示名で検索します。
- 作成済みの文字は MAKIMOJI の字形で表示され、未作成文字は別フォントで補われることがあります。
- 表示を更新するには、Windows を再起動してから確認します。

13-5. お知らせを確認する

オフライン、GitHub 側の更新中、ネットワーク状況などに応じて、表示はアプリ内蔵の初期画像へ切り替わります。

お知らせは補助機能として、文字の作成・保存・TTF 書き出しと並行して利用できます。

14. よくある質問と利用上の注意

購入・配布・作品利用を始める前に、フォントデータとアプリ本体を分けて考えてください。

14-1. 必要な漢字から作れますか？

作品に必要な漢字から作成できます。作成済みの文字だけでフォントを書き出し、必要になった文字は同じプロジェクトへ追加できます。

14-2. 作成したフォントを商用利用できますか？

販促計画上、MAKIMOJI で作成したフォントは、作品・動画・SNS・配布・販売などの商用利用を想定しています。ただし、手本に使った第三者フォントや素材のライセンスは別途守ってください。

14-3. オフラインで使えますか？

基本的な文字入力、保存、プレビュー、設定、TTF 書き出しはローカルで行います。ホームのお知らせ画像は通信状況に応じて、外部画像または内蔵画像を表示します。

14-4. プロジェクトを人に渡せますか？

.mkmj プロジェクトをバックアップや別 PC へ移すことはできます。移動するときは、保存完了後にプロジェクト全体をコピーし、コピー先で開けることを確認してから元データを整理してください。

14-5. 画像や PDF から文字を取り込めますか？

本商品はマウスまたはペンで直接書く方式です。このマニュアルでは、直接書く操作を中心に案内します。

> **利用条件について** フォントの利用条件、販売条件、サポート情報は、購入時に付属する最新の利用規約・販売ページを優先してください。アプリのバージョン更新で画面名が変わることがあります。

15. 付録：用語とリンク

最後に、マニュアル内で使った用語と、最新情報を確認できるリンクをまとめます。

プロジェクト	文字や設定をまとめて保存する .mkmj ファイルです。
現在の文字	いまキャンバスへ描いている 1 文字です。
手本	字形や位置を合わせるために薄く表示するガイドです。
作成済み	手書きデータが保存されている文字です。
後でチェック	見直し対象として目印を付けた文字です。
TTF	Windows や他のアプリで使える TrueType フォント形式です。
プレビュー	作成した文字を文章や利用場面で確認する画面です。

15-1. 最新情報

ホームページ：MAKIMOJI 公式ホームページ

作者：maki（X）